

## 会 議 録

会議の名称		令和6年度第3回虹色学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和6年11月14日(木) 開会 13:50 閉会 15:35		
開催場所		つくば市立研究学園小学校 多目的室1		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野尻 敏弘、榎 幸子 三田部 勇、川村 靖子 研究学園中学校：校長 板谷 亜由美、教頭 小飼 美保 研究学園小学校：校長 岡田 太郎、教頭 細田 愛		
	その他			
	事務局	教育局 教育局長 吉沼 正美 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議「みんなの幸せを大切にし、自ら考え行動できる児童生徒の育成のために、学校、保護者、地域ができること」		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 前回の議事の確認 4 協議：熟議「みんなの幸せを大切にし、自ら考え行動できる児童生徒の育成のために、学校、保護者、地域ができること」 5 その他 ・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について 6 閉会			

### <審議内容>

#### 1 開会

三田部座長：令和6年度第3回虹色学園コミュニティ・スクール推進会議を開会

します。会議を進行するにあたり書記を虹色学園の槇さんをお願いします。→了承

## 2 挨拶

三田部座長：よろしくをお願いします。

板谷委員：前回言っていたことを具体化できればと思いますので忌憚のない御意見をいただければと思います。

## 3 前回の議事録の確認

## 4 協議

【熟議】「みんなの幸せを大切にし、自ら考え行動できる児童生徒の育成のために、学校、保護者、地域ができること」

小飼委員：前回の「学園教育目標の実現に向けて、それぞれの立場からできること」について、具体的に話を進めていきたい。学校が保護者、地域と学校をつなぐためには、どのようなアイデアがあるか、考えていきたい。

岡田委員：学校社会から一步も出ずに教員になるため、考え方や見方が教員目線になってしまう。保護者や地域の人のお話を聞くことができ見方が変わる意見をもらえた。時代と共に変わっていく部分もあるので、子どもが将来に向かって、自ら学び続けられるような大人になってもらいたい。子どもたちに学びを委ねることも大事。まずは教職員も努力していくので、その後の意見を欲しい。地域と共にある学校作りができるといい。

板谷委員：自分の力で対処できない時のため、授業や学校行事に組み込んで自ら学んでいくことが大切。機会を作る中で、地域や保護者ができることを一緒に考えていけるといい。

野尻委員：コミュニティ＝地域のコラボと思いがちだが、子どもの教育が一番大事。教職員のより良い働き方についても話し合いが必要。学校内での様子が分からないので、把握、共有し、先生が困っていることなどを助け合っている方法を議論できるといい。聞きたいことを具体的に絞る。

小飼委員：学校のために保護者や地域ができること、学校側が必要としていることなどを挙げていけるといい。

### 【地域とともにある学校づくり 学校を核とした地域づくり】

#### (1) グループごとに話し合う（PCでまとめる）

グループ ①保護者 ②学校 ③三田部座長、川村委員

#### (2) 情報共有及び意見交換

アイデアを出し合う、話し合い後、発表

#### ① 保護者

・部活動の支援・通学のルールメイキング・授業の支援（卒業後の人材バ

ンク)・先生たちの負担軽減(アンケートを取る)・卒業生とその保護者に、続けて関わってもらえるような運営方法を継続できるといい。

岡田委員：卒業された方と関りを持ち、繋がっていける仕組みができるといい。

事務局：自分の子どもたちが通っている幼稚園は、卒業後もOB、OGがイベントに参加し雑談する。参加理由としては、場所が好き、人と人の繋がりを大切にしているとのこと。CSの本質とは、お互い様、誰かのために自分の存在や生きる意味がある。そんな話から繋がりができるのでは。

岡田委員：OB、OGをどのように集めているのか？

事務局：幼稚園や保護者のつながりから電話で信頼している人を誘う。行事など長く続いているので役割がある。

事務局：竹園まつりは、コーディネーターの方がいる。吾妻まつりも同じく、イベントに関わることで繋がりとなる核があると広がっていく。荃崎三小での例、森の里に住んでいるシニア世代の方が草刈りをしてくれる。学校との関わりの中でPTAが核となっている。地域住民との関係性や思いがあるので今でも手伝ってくれる。

事務局：子どもどころ地域にお世話になった感覚があると、次の世代が支えていく傾向にある。

岡田委員：学校が魅力的であることが大事。

小飼委員：卒業する前に活動に関わっていけるような仕組みづくりができるといい。部活動についても見守る人がいるだけでも有難い。部活動指導員を市でやっているが、キャリア学習のように、仕事の種類だけでなく、地域の方で部活動の指導をできる人を募集して欲しい。キャリア学習の人材集めの時に情報共有して欲しい。

三田部座長：アスレチックデパートメントが大学生を相手に人材バンクを作り、そこから派遣をしている。

事務局：手代木中も大学院生が三代続けてきてくれている。

三田部座長：部活に入らない学生が一定数いるが、その学生が学校へ行って指導できるような仕組みができないかと考えている。

野尻委員：負担が大きいのは、指導ができないから？見ているのが大変なのか？

板谷委員：両方。専門的にやっていないと指導が難しい。事務仕事をしたいが、部活に時間を取られてしまう。先生の数が少ないので、複数見るのは難しい。

岡田委員：昔は大会の審判が本当に負担だった。審判の講習会もお金がかかる。家庭への負担も大きい。

## ② 三田部座長、川村委員

・児童の情報共有による支援・学校行事に参加・児童クラブの支援員(学生)の交流会・児童クラブと中学生の交流会・授業との関連で地域の方の学校行事への参加・教員志望学生の奨学金免除に係る実施研修と学校や児童クラブへの支援のコラボ(今年からスタート)→受け皿に困っている。学校で支援して欲しいところに学生をあてがうことができればWin-Winの関係になれる。

板谷委員：前向きに検討をお願いしたい。

### ③ 学校

・地域の人に来てもらえるように行事に参加してもらおう・虹色祭で地域の方の作品を飾る・部活動の支援

野尻委員：スポーツフェスティバルの今後は平日、土日どちらの開催になるのか。

岡田委員：保護者としては平日と土日だったらどっちがいいのか？

野尻委員：休日の方がいい。

榎委員：どちらでもいいが、お弁当を作るのは大変。土日なら、祖父祖母、父母の参加率は上がる。

野尻委員：卒業生に参加してもらうためには、土日が良い。

小飼委員：子どものお弁当だけなら大丈夫か？

榎委員：子どものお弁当だけなら負担は少ない。

・・・各地域についての意見交換・・・

小飼委員：実現可能なものとして・先生たちの負担軽減のためアンケートを取り集約できるのはいい活動。→サポーターズでアンケートの作成。

・地域との繋がりとして、地域の方を巻き込んでできる案の検討。→学校、サポーターズで各々要検討。

小飼委員：地域の方を入れるアイディアは？

事務局：春日は保護者や地域の知り合いのついでで参加。

板谷委員：学区内やOB、OGなど。

小飼委員：見て終わりなのか？来たからには何かに参加するなど？

岡田委員：地域のスポーツフェスティバルとしてやるのなら、サポーターズ用のテントを作るのもいい。あくまでも学校だけの行事ではない前提なら。

小飼委員：例えば、プログラムの中に参加してもらえる種目を入れる（玉入れなど）

事務局：種目を地域の方に考えさせるのは？春日は文化祭で作品展示をしている。

野尻委員：体育館を借りている人への連絡を取るなどどうか？知らない人との繋がりができる。

小飼委員：大学生の学校支援を前向きに検討していただきたい。

板谷委員：去年、筑波大生のインターシップでお世話になった。

野尻委員：個別にサポーターズの野球イベントで筑波大生にお世話になったが、他の運動や部活の指導など、つてがないので三田部座長を通してお願いできるのか？

三田部座長：学生がやってくれるかは不明ですが、繋ぐことはできる。

川村委員：クラブに来ている児童は限定されているので、建物をいかしつつ中学生や地域との交流会ができるといい。

小飼委員：実現可能な案や進められそうな案が出てきた。それぞれの立場でやれるところから、一歩前に進めるように手を付けていければ。着実にやっていけれ

ばと思いました。

5 その他

開催予定：4回目、令和7年2月13日(木)14時 会場：研究学園中学校

6 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

# 令和6年度第3回虹色学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時:令和6年 11月 14日(木)

14:00~16:00

場所:研究学小学校 会議室

## 次 第

1 開会

2 挨拶

3 前回の議事の確認

4 協議

熟議「みんなの幸せを大切にし、自ら考え行動できる児童生徒の育成のために、学校、保護者、地域ができること」

5 その他

・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について

6 閉会

## 会 議 録

会議の名称		令和6年度第2回虹色学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和6年8月6日（火）開会 14:00 閉会 15:45		
開催場所		つくば市立研究学園中学校多目的室1		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	佐久間 健、野尻 敏弘、楨 幸子 三田部 勇、川村 靖子 研究学園中学校：校長 板谷 亜由美、教頭 小飼 美保 教務主任 原口 知武 研究学園小学校：校長 岡田 太郎、教頭 細田 愛 教務主任 土田 剛士		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 係長：飯島 遊 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議「みんなの幸せを大切にし、自ら考え行動できる児童生徒の育成のために、学校、保護者、地域ができること」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 前回の議事の確認 4 協議：熟議「みんなの幸せを大切にし、自ら考え行動できる児童生徒の育成のために、学校、保護者、地域ができること」 5 その他 ・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について			

<審議内容>

1 開会

三田部座長：令和6年度第2回虹色学園コミュニティ・スクール推進会議を開会します。会議を進行するにあたり書記を虹色学園の槇さんをお願いします。  
→承認

2 挨拶

三田部座長：虹色学園のための協議をよろしくお願ひいたします。  
板谷委員：いろいろな意見をいただければ幸いです。

3 前回の議事録の確認

野尻委員：・議事録公開について発言者の名前を公開されるのか？

事務局：→出席者は公開、発言者については検討し、決まり次第、回答。

三田部座長：・数値目標について

岡田委員：→教育での数値目標はなかなか難しい。1、2年では数値が表れにくい。キーとなる数値はあって良い。子どもや状況も変わるので、数値目標として、細かくやっていくのは難しい。長い目で見てもらえるよう今後も継続的に検討。

4 協議

【熟議】「みんなの幸せを大切にし、自ら考え行動できる児童生徒の育成のために、学校、保護者、地域ができること」

(1) グループごとに話し合う（パワーポイントにまとめる）

グループ ①保護者 ②学校関係者 ③三田部座長、川村委員

(2) 情報共有及び意見交換

30分アイディアを出し合う、話し合い後、発表

② 学校

- ・自律を伴う自立（児童が中心となる授業）・教師は支える側（伴走者）を目指す
- ・低学年についても手をかける事、声をかける事を少なくして待つ、聞き方の工夫
- ・異学年交流を増やし、低学年の意見を吸い上げていく
- ・ルールメイキング、子どもたちが主体的に話し合いをすることで自立する
- ・話を否定しないこと、認め合えることが幸せである。

佐久間委員：・生徒指導、授業の中で手を出しすぎないようにということが分かった。



佐久間委員：・教師の役割

岡田委員：→子どもの成長、伴走者である。

佐久間委員：・生徒に差がある時の対応

岡田委員：→一斉指導の時は中の下に合わせていた。最近では、子どもたちの一人一人のペースに合わせて（自由進度学習）支援を工夫している。

佐久間委員：それによって、教師がやることは増えたか。

板谷委員：時間も取られていると思うが、繰り返していくうちに慣れてきている。

岡田委員：自立を促すための学びを支えているが保護者は点数を気にしているのか。

野尻委員：一般的には受験をするために、また私立を選ぶ人も多いため、他の地域に比べると点数を気にする傾向が強い。

岡田委員：自立と幸せが目標。自分で考え、自分で判断し、自分で学ぶ児童・生徒を育てたい。これからは、時代に合った、必要な知識を獲得し、新しいアイデアを作り出す力が必要。点数が一番なのか。どういう大人に育って欲しいのかに比重を置くのか。それらのバランスには悩むところがある。保護者はどのように考えているのかを知りたい。

野尻委員：点数を伸ばしてほしいという傾向は強い。小さいころから自主的にいろいろなことを探求する力を持っている子が多くなるような教育を受ければ、必然的に点がついてくる。うまくやっていたら結果的に中学校の進学率が高くなる。虹色学園がそこにフィットすると一番良い。この小中の最適な方法を模索していければいい。抵抗がある保護者もいると思うので、サポーターズからも広報などで支援していけたらいい。率直な悩みを役員会などで話合いができるとうい。

#### ① 保護者

- ・サポーターズでやっているイベントは続ける(野球、書道など)
- ・私立高に偏りを感じる、県立の魅力はどう伝えるか
- ・受験のための授業をどうするか
- ・先生と子どもの適切な距離感、希薄になっていること。子どもの接し方、自治会がないため地域交流が少ない
- ・学校、子ども、保護者のコミュニケーションが少ない
- ・生徒との交流を保護者がとる
- ・通学のための集まりが一番のコミュニケーションになっていたのでは、連携する場がつかれるのではないか

事務局：学校に関わってくれる人の横の繋がりがあると良い。卒業された方など世代間を超えた繋がりができると良い。通学の話とかが良い例。

野尻委員：卒業した方が学校の支援活動に登録できる仕組みがあると良い。春日などの良い事例があれば教えて欲しい。

岡田委員：学校が地域のハブになる。これからの在り方に近づくのではないか。学校を介して地域と繋がる。

佐久間委員：保護者同士の繋がりが薄いので、イベントの参加を通して人間関係の繋がりを作っていく。

③ 三田部座長、川村委員

【まずは地域の方が学校、子どもたちを見る、知ることが大切】

- ・人材バンクの作成・児童クラブにおける中学生との交流イベント
- ・児童クラブのイベントに保護者の参加を促す
- ・ワールドカフェ、トークフォークダンス等による地域の方とのコミュニケーションイベント
- ・地域の方が参加できるようなイベントの開催
- ・地域を多く捉えれば、筑波大生との交流

岡田委員：学校と地域の距離があるのはコロナ禍があったから。

事務局：学校と地域、保護者が同じ目標を持つことが大事。共通目標、共通理解ができているのが素晴らしい。地域ネットワークを広げていくことが目標。例：自治体によっては、地域の方が学校行事に参加しネットワークを広げていく。コミュニティ・スクールの課題としてネットワークの軽い保護者が少ない。虹色学園はうまく連携が取れていて、様々な活動、思いが共有できていてとても素晴らしい。3月にコミュニティ・スクールの研修会があるので事例として活動の発表を協力していただけると有難い。

事務局：同じ方向に向けて共通の話し合いができていたのではないかと。3月にぜひ、サポーターズの活動を話してもらえると有難い。次の話合いの熟議のテーマを保護者からも出していただけると有難い。

小飼委員：充実した話合いができた。次回、テーマのアイデアをいただくとともに、今回の意見を元に、実現するためにはどうしたら良いか。などを話し合えるといい。

## 5 その他

児童クラブとサポーターズの連携（川村先生の役員会の参加など）

開催予定：3回目、令和6年11月21日(木)14時 会場：研究学園小学校  
4回目、令和7年2月13日(木)14時 会場：未定

## 6 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。